

一般国道6号 茨城県北茨城市～福島県いわき市間 なこそ (勿来バイパス) 計画段階評価 第2回 説明資料

1. 前回委員会の概要	・・・ 1
2. 地域からの意見聴取結果（第1回）	・・・ 3
3. 整備方針（ルート帯案）の検討	・・・ 17
4. 地域からの意見聴取方法案（第2回）	・・・ 23
5. 今後の計画段階評価の進め方（案）	・・・ 25
6. 第2回アンケート（案）	・・・ 27

1. 前回委員会の概要

◆東北・関東地方合同小委員会開催状況

第1回東北・関東地方合同小委員会〔平成25年6月4日開催〕

◆議事内容

- ① 道路交通及び地域の現状・課題
- ② 政策目標の設定
- ③ 地域からの意見聴取方法
- ④ 今後の計画段階評価手続きの進め方

●第1回 東北・関東地方合同小委員会での主なご意見と対応状況

主なご意見		対応状況
【政策目標について】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 政策目標の設定において、福島県の総合計画を記載しているが、新しい総合計画が策定されているはずなので確認すること。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ H24年12月に策定された「ふくしま新生プラン」に修正。
【意見聴取方法について】		
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 震災時は南方面への渋滞がひどく、被災箇所はいわき市に戻らざるを得ない状況であった。特に南方面への流動が大事なので、広野町などいわき市以北のニーズも聴取して欲しい。 ・ 意見聴取における対象企業の中に、医療や観光（海水浴場等）の分野を入れて欲しい。 ・ 観光は広域であり、茨城県、福島県の2県だと把握しきれないこともある。水戸市や福島市、場合によっては、大手の旅行代理店にも聞いた方がよい。 ・ 県境の流動では通学も多いため、学校関係者からも意見聴取してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広野町などいわき市以北も含めた、観光、医療、学校、商工会議所、企業等へのヒアリングを実施した。
期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート期間が2週間より長くすればより多くの意見を聴取することが出来ると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート配布地域が広範囲なことから、アンケート期間を3週間とした。
区対 間象	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの対象区間が、「北茨城市大津町からいわき市勿来地区間」と限定的となっているが、国道6号「北茨城市からいわき市」など、広域的な捉え方をすべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「国道6号(北茨城市からいわき市間)」に修正。
広 報	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの周知において、県報や市報など利用すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の広報誌に広告を挟んで配布した。
設 問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不測の事態が発生した際、国道6号が繋がっていることで安心できるなどの観点を記載すべきではないか。 ・ アンケートの質問3に、「災害時の輸送に不安がある」など震災時に浮き彫りになった課題を入れてはどうか。 ・ アンケートの質問4に、「どちらかと言うと必要だと思う」が入ってるため、バランスを取るため「どちらかと言うと必要だと思わない」を入れるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問3に、「災害時の通行（避難）に不安がある」を追加。 ・ 質問4に「どちらかと言うと必要だと思わない」を追加。

2. 地域からの意見聴取結果 (第1回)

◆新聞広告

- ・福島県内2紙、茨城県内2紙にアンケートへの協力を呼びかける広告を掲載

◆広報誌・ホームページによる広告

- ・いわき市、北茨城市、高萩市の各広報誌にアンケートへの協力を呼びかける広告を挟み、対象地域内の全世帯へ配布するとともに、各市ホームページにバナーを掲載

◆企業ヒアリング

- ・企業や団体に訪問しヒアリングを実施し、あわせてアンケートへの協力を呼びかけ

●新聞広告（8月2日朝刊に掲載）

アンケート実施期間：平成25年 8月18日(日)まで

返信はがきによる回答 いわき市小名浜地区及び勿来地区、高萩市及び北茨城市にお住まいの皆様へ、郵便にてアンケート票と返信用はがきをお届けしますので、ご記入後お近くの郵便ポストへ投函をお願いします。

インターネットによる回答 どなたでもインターネットから回答できます。常陸河川国道事務所、福島県土木部、茨城県土木部、いわき市、高萩市、北茨城市のウェブサイトからご利用いただけます。

お問い合わせ先
 国土交通省東北地方整備局 磐城国道事務所 調査課 〒970-8026 福島県いわき市平字五色町8-1 TEL.0246-23-0963 <http://www.thr.mlit.go.jp/iwaki/>
 国土交通省関東地方整備局 常陸河川国道事務所 計画課 〒310-0851 茨城県水戸市千波町1962-2 TEL.029-240-4067 <http://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/>

●企業ヒアリングの様子

/いわき観光まちづくりビューローにて
H25年8月9日



●アンケート協力を呼びかけるポスターの掲示

/いわき市役所にて



●広報誌による広告の配布

アンケート実施期間 平成25年 8月18日(日)まで

お問い合わせ先
 国土交通省東北地方整備局 磐城国道事務所 調査課 <http://www.thr.mlit.go.jp/iwaki/>
 国土交通省関東地方整備局 常陸河川国道事務所 計画課 <http://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/>

●各自治体ホームページへのアンケートバナー掲載状況

<いわき市>



<北茨城市>



2-2. 意見聴取概要

アンケートの配布・回収方法、配布・回収部数、企業ヒアリング等以下のとおり実施【7/29(月)～8/18(日):3週間】

住民：郵送配布・回収とWeb回答 企業：郵送配布・FAX回収		茨城県			福島県			左記以外	合計
		高萩市	北茨城市	不明その他	いわき市		不明その他		
					勿来地区	小名浜地区			
住民アンケート	配布数(部)	12,637	18,853	—	19,958	30,814	—	82,262	
	回収数(部)	1,595	2,796	19	3,365	3,294	693	11,852	
web	回収数(人)	43	127	14	152	133	67	543	
企業アンケート	配布数(社)	17	24	—	36	86	—	163	
	回収数(社)	5	6	—	8	28	—	47	

企業ヒアリング ※直接訪問による聞き取り		実施状況 (訪問した件数)	
		茨城県	福島県
経済団体	商工会	5	4
	J A		
	観光協会		
医療機関		3	3
運輸関連業者		1	5
教育機関	大学	2	4
	高等学校		
観光事業者		5	4

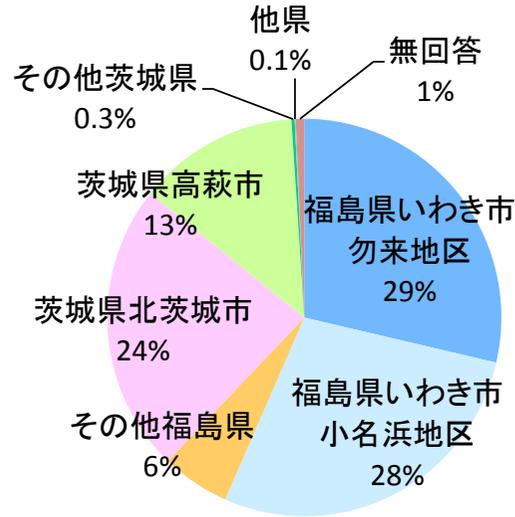
■アンケート・ヒアリング対象位置



2-3. 意見聴取（住民アンケート）の結果（1/5）

- ◆住民アンケートは、住民11,852人、Webアンケート543人、合計12,395人の回答を得た。
- ◆回答者の地域区分では、福島県側約6割、茨城県側約4割であった。

回答者の地域区分

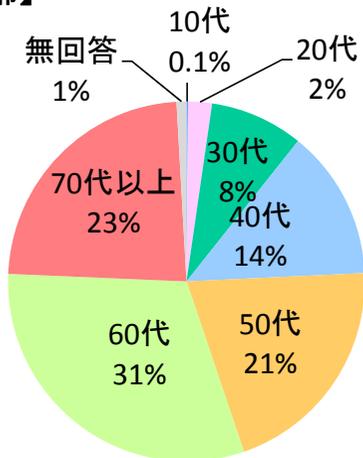


総回答者数 12,395人

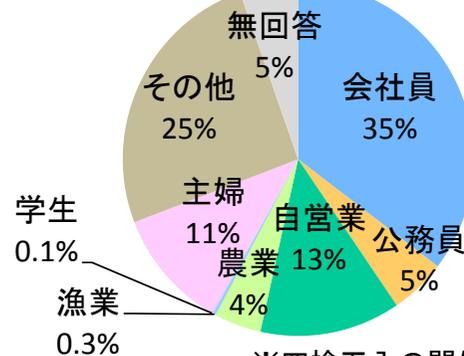
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

住民アンケートにおける回答者属性

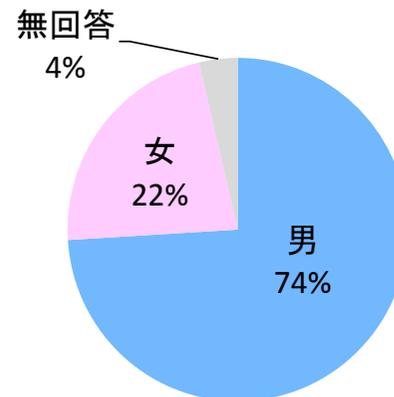
【年齢】



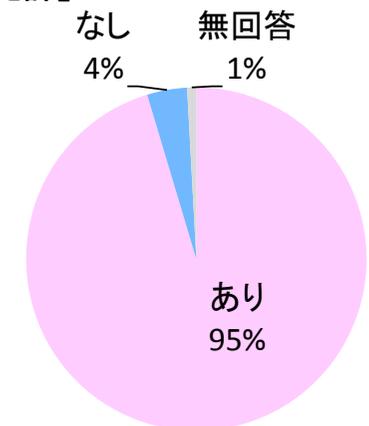
【職業】



【性別】



【運転免許】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

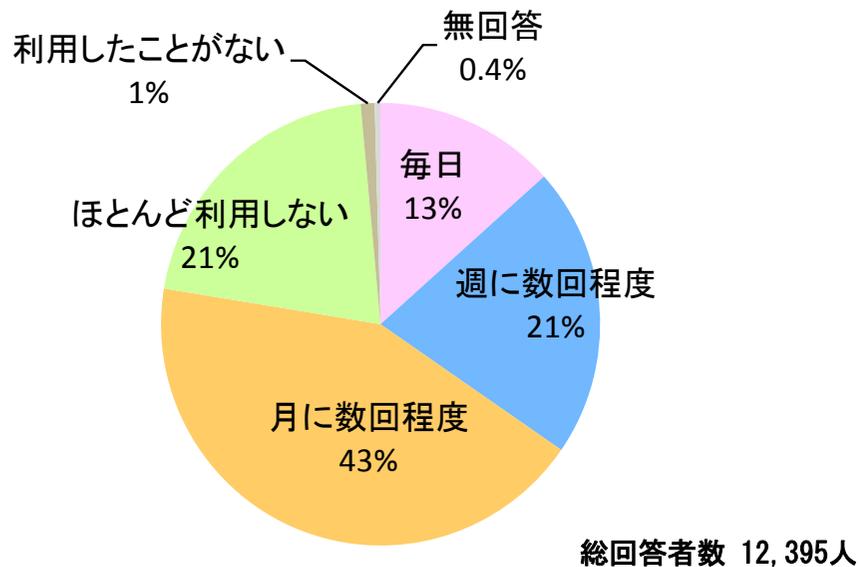
総回答者数 12,395人

2-3. 意見聴取（住民アンケート）の結果（2/5）

- ◆利用頻度では、回答者の約4割が国道6号（北茨城市からいわき市間）を「月に数回程度利用」と回答。
- ◆利用目的では、「家事・買物」や「観光・レジャー」がそれぞれ半数を占める。

国道6号の利用頻度

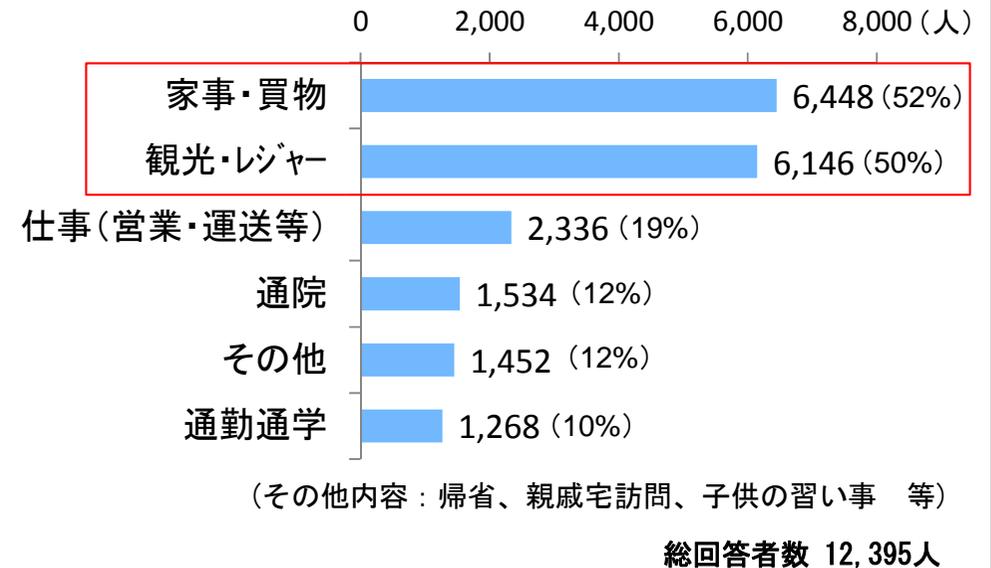
【質問①】 国道6号（北茨城市からいわき市間）の利用頻度について、回答して下さい。



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

国道6号の利用目的

【質問②】 北茨城市からいわき市間の主な利用目的について、回答して下さい。（複数回答可）

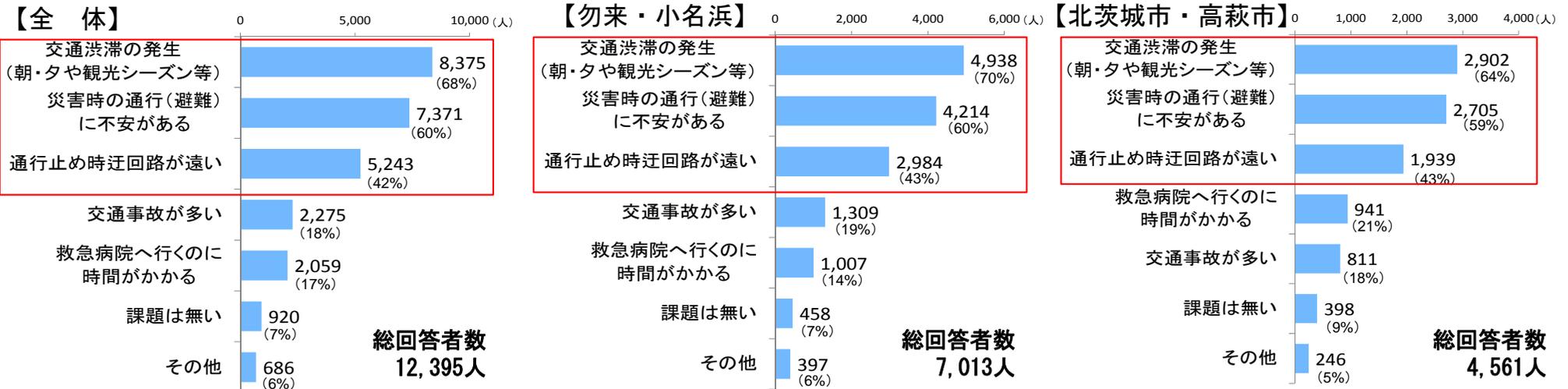


※（ ）は総回答数に対する当該選択肢を選択した回答数の割合。
複数回答のため、選択肢毎の割合の合計は100%を上回る。

- ◆国道6号の課題については、「交通渋滞の発生(朝・夕や観光シーズン等)」、「災害時の通行(避難)に不安がある」、「通行止め時、迂回路が遠い」を回答する人が過半数を占め、地域別でも同様の傾向。
- ◆回答された約8割の方が、道路整備の必要性を感じている。

国道6号の課題の把握

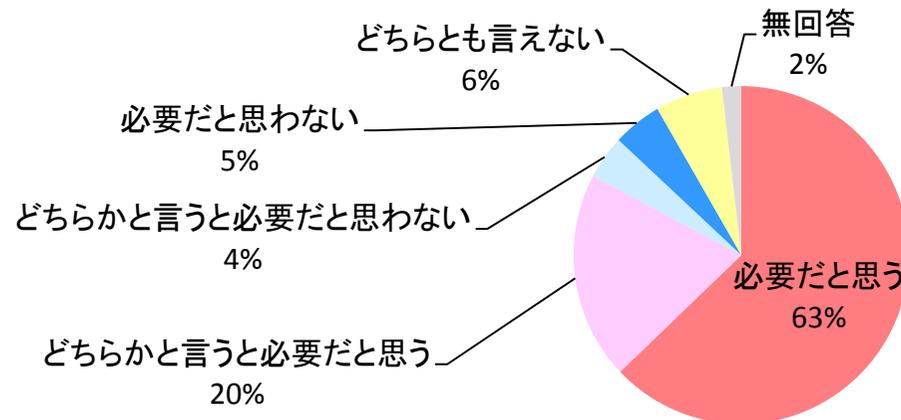
【質問③】 国道6号（北茨城市からいわき市間）にはどのような課題があると思いますか？（複数回答可）



※ () は総回答数に対する当該選択肢を選択した回答数の割合。複数回答のため、選択肢毎の割合の合計は100%を上回る。

整備の必要性把握

【質問④】 国道6号（北茨城市からいわき市間）に道路の整備は必要だと思いますか？



総回答者数 12,395人

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

国道6号の課題の把握

【質問⑤】今後の道路整備の検討にあたって配慮すべき事項（自由記述）

分類	住民アンケートによる主な自由意見
交通関連	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の渋滞で現在はこの区間を使用せず遠回りをして通勤しています。早くバイパスが出来て欲しい。 ・朝夕の通勤に交通渋滞が慢性化している現状です。<u>早急に整備を希望する。</u>
事故関連	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパスを整備するにあたり、<u>事故や渋滞の原因となる信号や横断歩道などを極力造らない道路にして欲しい。</u> ・交通事故による死亡事故を最小限にとどめるような道路整備を進めて欲しい。
災害関連	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に通行止め等があった場合は迂回路が高速道路しかない。最悪の場合を想定すると避難時に大変不安を感じる。 ・震災の時の様な大渋滞が二度と起こらない様に早く整備して欲しい。 ・<u>津波災害で浸水の恐れのある区間は代替となる迂回幹線が必要だ</u>と思う。
医療関連	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅を広くし迂回路も造って、救急医療施設へもいち早く行ける安全な道路を造って欲しいと思います。 ・津波時に浸水した道路の嵩上げや、救急車両のスムーズな走行確保のための道路の拡張（渋滞回避）が必須と思います。 ・大地震があった場合は<u>迂回道路が遠く、救急病院へ行くにも時間がかかり、助かる命も助からないことにもなる。</u>そのためバイパスは必要である。
その他 (ルートや早期完成の要望)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に国道6号が通行止めとなった場合、高速道路は緊急車使用になると思う。一般道が通行できる山側の<u>バイパスが欲しい。</u> ・災害や地震、津波等に対応できる様、極力山側に設けるべき。 ・この地域の重要道路です。早急な整備をお願いしたいです。 ・運転のし易い、ストレスの少ない道路をお願いします。

国道6号の課題の把握

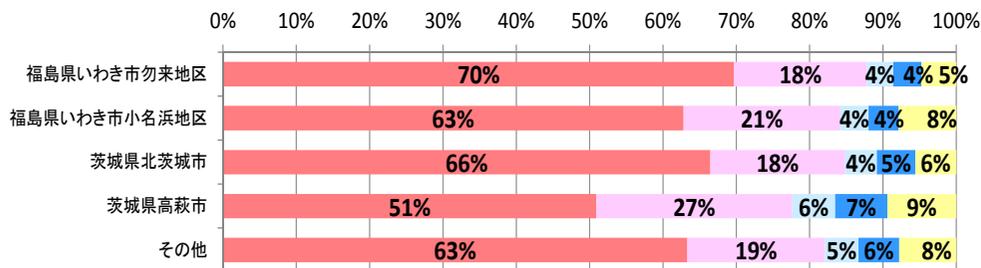
【質問⑥】 国道6号（北茨城市からいわき市間）に道路整備が必要だと思わない理由についてお聞かせ下さい。

分類	住民アンケートによる主な自由意見
現在の道路で十分	<ul style="list-style-type: none"> ・常磐自動車道を利用できる。さらに踏み込んで、高速料金を低価格とし、利用し易くすれば新道路は必要無い。 ・あらかじめ混むとわかっているので、その都度対応している。 ・交通渋滞は許容の範囲内であり緊急時には高速道を利用すべきである。 ・高速道路ではないので多少の交通渋滞はあって当たり前。朝夕の渋滞は覚悟して予定を立てればよい。 ・時間帯、季節的に<u>限定的な渋滞であり許容できる</u>。
道路整備以外にやるべきことがある	<ul style="list-style-type: none"> ・財源不足の状況及び未修復の防波堤が多々ある中で<u>防波堤復興防災への投資を優先し、その後考案すべき</u>。 ・朝・夕や観光シーズンの渋滞の発生がある位で他の通勤路でもこれ以上の渋滞が発生しているところや、震災後2年が経つのにまだ道路がもとに戻っていない所もある。 ・道路整備より医療福祉の充実を希望します。 ・朝夕のラッシュが少しでも解消するのは嬉しいが、財政・少子化を考えれば我慢できるレベル。インフラの劣化に今後発生する費用を考慮した方がよい。
当該区間の利用が少ないため必要性を感じない	<ul style="list-style-type: none"> ・観光シーズン、<u>通勤時の渋滞時間は避けるようにしている</u>。 ・たまに通るがそんなに渋滞していないから。大体土日に通ります。茨城県の人はこちらかという水戸方面に行くことが多いから必要ない。
その他 (現在の景観や風情を残したい)	<ul style="list-style-type: none"> ・2車線道路で道路渋滞を感じることもありますが、<u>景観が良く現状の風情もなくさないで欲しい</u>と思います。 ・美術館や食事等の際の利用の為此のままでも問題は感じない。海岸の景色を見ながら走れる道路はとても気持ちが良い。 ・緑豊かな場所だから道路で地域を分断することは自然破壊となる。

2-3. 意見聴取（住民アンケート）の結果（5/5）

- ◆道路整備の必要性は、沿道地域（いわき市勿来地区、いわき市小名浜地区、北茨城市）で高い傾向。
- ◆利用目的別、課題認識別においても、道路整備の必要性は高いと感じている。
- ◆利用頻度が低くなると「道路整備が必要」の回答率も下がるが、ほとんど利用したことがない人でも約7割は道路整備が必要と感じている。

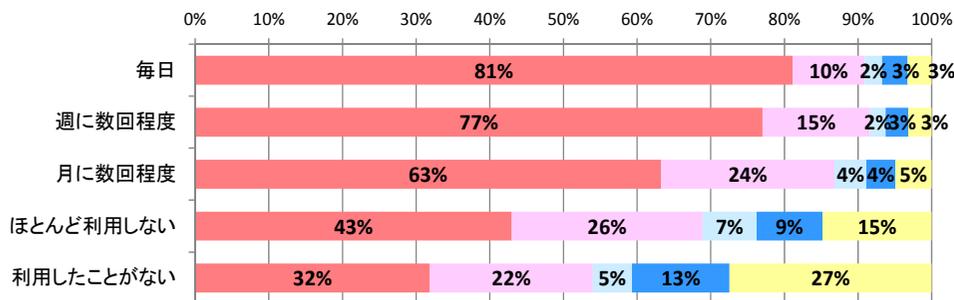
【居住地と道路整備の必要性のクロス集計結果】



【利用目的と道路整備の必要性のクロス集計結果】



【利用頻度と道路整備の必要性のクロス集計結果】



【課題認識と道路整備の必要性のクロス集計結果】

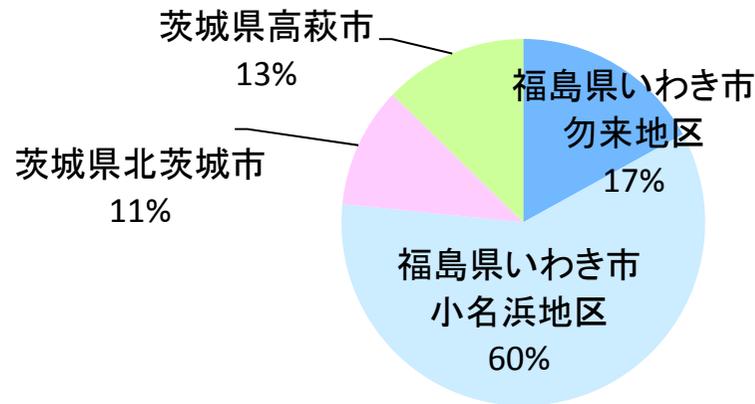


■ グラフ凡例

- 必要だと思う
- どちらかと言うと必要だと思う
- どちらかと言うと必要だと思わない
- 必要だと思わない
- どちらとも言えない

◆回答企業の約7割が国道6号（北茨城市～いわき市）を「毎日利用する」と回答し、その利用目的は「運送」が最も多い。

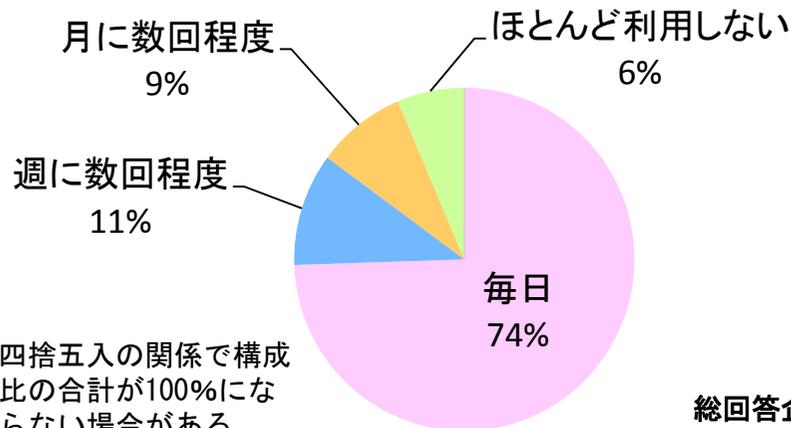
回答者の地域区分



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

国道6号の利用頻度

【質問①】国道6号（北茨城市からいわき市間）の利用頻度について、回答して下さい。

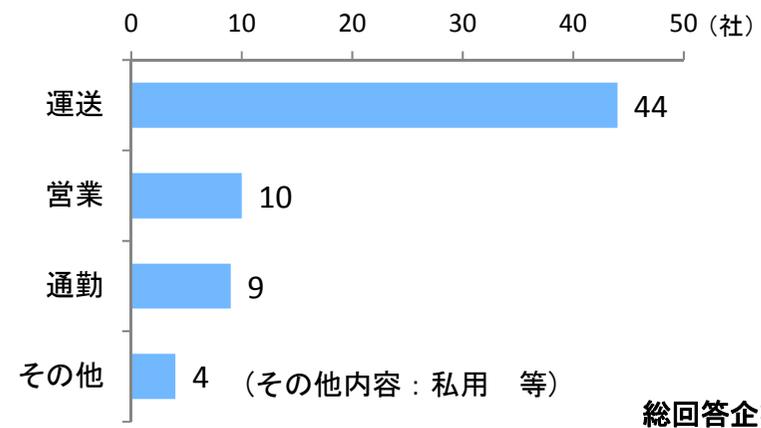


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

総回答企業数 47社

国道6号の利用目的

【質問②】国道6号（北茨城市からいわき市間）の主な利用目的について、回答して下さい。（複数回答可）

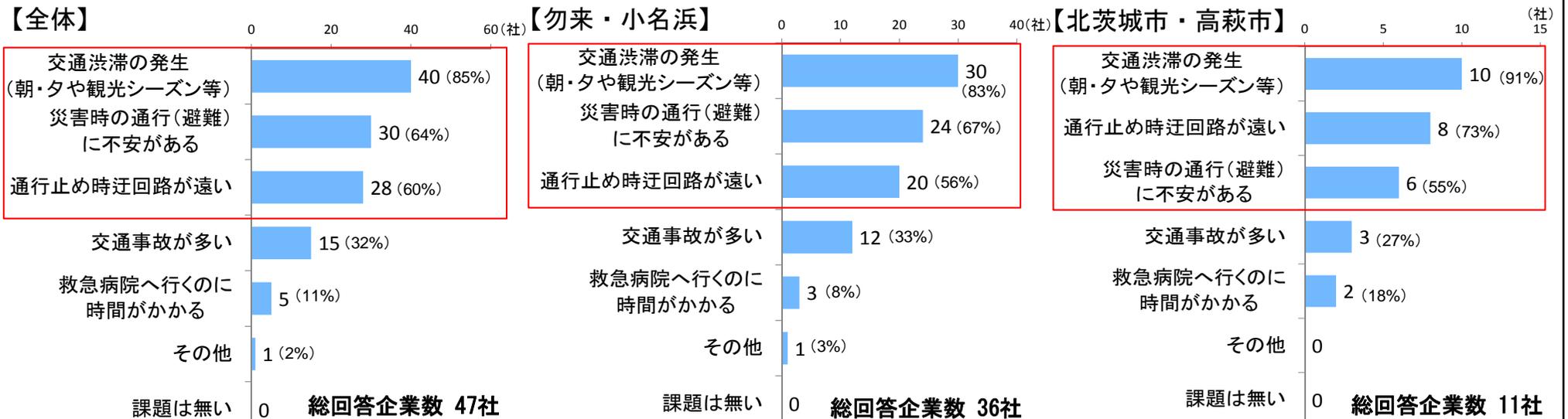


総回答企業数 47社

2-3. 意見聴取（企業アンケート）の結果（2/3）

- ◆現道の課題について、住民アンケートと同様に「交通渋滞の発生(朝・夕や観光シーズン等)」、「災害時の通行(避難)に不安がある」、「通行止め時、迂回路が遠い」の回答が多い。
- ◆企業の回答において、約9割以上が道路の整備の必要性を感じている。

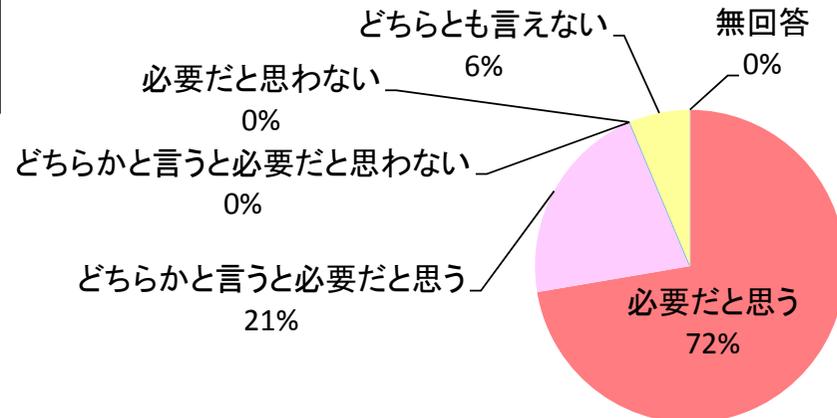
国道6号の課題の把握



※ () は総回答数に対する当該選択肢を選択した回答数の割合。複数回答のため、選択肢毎の割合の合計は100%を上回る。

整備の必要性把握

【質問④】 国道6号（北茨城市からいわき市間）に道路の整備は必要だと思いますか？



総回答企業数 47社

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

国道6号の課題の把握

【質問⑤】今後の道路整備の検討にあたって配慮すべき事項（自由記述）

分類	企業アンケートによる主な自由意見
交通関連	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のラッシュ時に動かなくなり、バイパスが必要だと思う。 ・<u>勿来海岸沿い（海水浴シーズン）の渋滞を解消して下さい。</u>
事故関連	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>交通事故が非常に多く感じられるので対策を講じて頂きたい。</u>
災害関連	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>迂回路が遠いので道路の整備をお願いしたい。</u>現在は高速道路を利用しているため経費が掛かり大変である。 ・国道6号は海岸線上にあり、災害(津波等)時はとにかく不安です。トラック等は逃げ道が限定されるため、これを踏まえて道路整備をして頂きたい。
医療関連	(自由意見なし)
その他（ルートへの要望）	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を受けて<u>今後も津波の不安があるため、山寄りのルートをお願いしたい。</u>

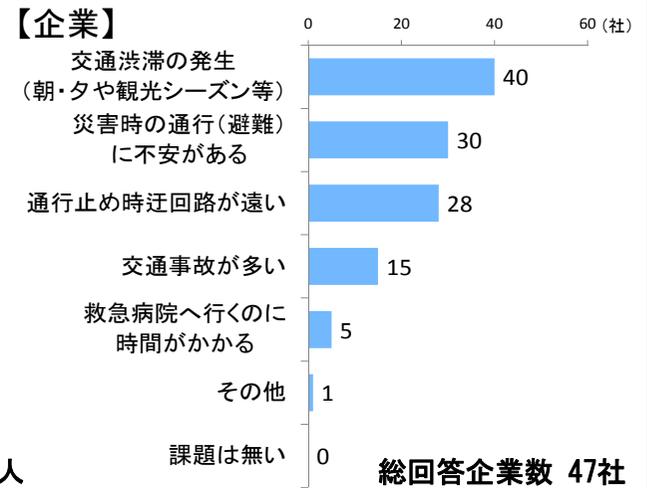
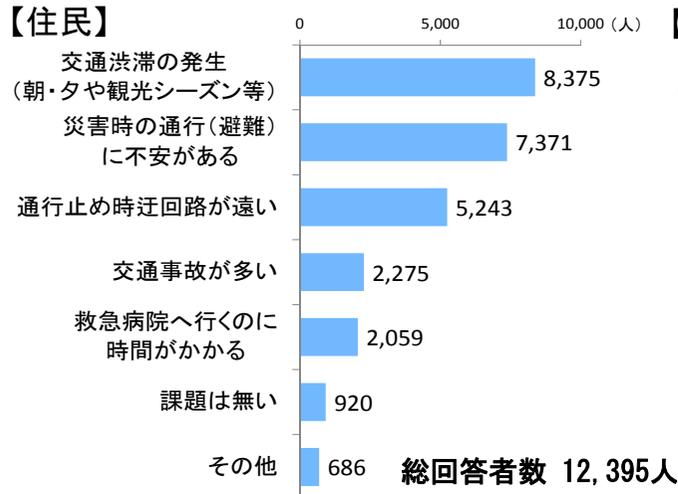
2-4. 企業ヒアリングの結果

- ◆企業ヒアリングにおいても、国道6号の渋滞や災害時の迂回路が遠い、災害時の通行への不安等の意見が多い。
- ◆国道6号の課題解決により、人工透析患者の通院や学生の通学圏拡大にも寄与する等の意見もあった。

分類	意見	主な回答企業、団体等の分野
交通関連	<ul style="list-style-type: none"> ・信号が少ないと渋滞が減ってよい。<u>国道6号が整備され、渋滞が減ると旧6号等の県道の交通量も減って通学・通勤環境が良くなる</u>と思う。 ・渋滞や事故リスクの少ない道路整備は生徒の通学や地域貢献の観点から賛成。 	教育機関
災害関連	<ul style="list-style-type: none"> ・常磐道経由は遠回りのため、茨城県中央部まで国道6号を利用したい。県道10号や市道は大型車の輸送ルートには不向き。<u>震災後しばらくは磐越道・東北道経由となり、大幅に遠回りとなった。</u>首都圏で圏央道や外環等の環状道路が整備されていなければ、関東西部への運送に支障を来すところであった。勿来バイパスが整備されるならば、常磐道の代替性に優れたルートが良い。 ・震災後の物資不足・燃料不足の中でも毎日数回搬送を続けたが、<u>余震による津波の危険性があったので、国道6号を使わないようにしていた。</u>スーパーマーケットへ食料品等を4tトラック数台で毎日搬送しているので、観光渋滞や災害の影響のない勿来バイパスの整備は当然必要。 ・物流企業の社会的使命は「確実に届ける」こと、道路が繋がっていないと物資を取りに行くことも届けることもできない。現道は浸水や崩落のリスクがゼロではなく、被災時に片側交互通行もできないであろう。県道10号等の迂回路は大型車のすれ違いができない箇所があり、物資搬送ルートとして使えないことから勿来バイパスの整備について強く必要性を感じている。 	運輸関連、医療機関
医療関連	<ul style="list-style-type: none"> ・国道6号は震災時の津波発生時に通行止めが発生した箇所であり、新たな道路が整備されれば医療面でも便利になると思う。 ・第三次救急救命センターとして患者の受入は拒否できない立場。<u>災害や観光渋滞に巻き込まれず、北茨城市立病院の移転先から容易に通じる道路の整備は必要。</u> ・人工透析の地域拠点として、茨城県からも検査来院等がある。災害で通行止めとなると透析患者は命に関わる。 ・現道は道路幅員が狭く大型車が上下方向にいる場合は、救急車が立ち往生するため、道路幅員の確保された道路を望む。 	医療機関
観光関連	<ul style="list-style-type: none"> ・通行止めの無い幹線道路は観光にも必要。 ・<u>観光シーズンに定時性が取れないことを非常に不便を感じており、勿来バイパスの整備は必要。</u> ・沿岸部の勿来の関公園や五浦の天心六角堂も含む常磐三市の観光マップを作成しており、観光渋滞が解消することは良い。 ・いわき市にある観光施設をあわせた周遊観光をする観光客は多く、道路整備により観光客は便利になる。国道6号以外は道幅が狭く観光バスが迂回できる道路が少ない。 	経済団体（JA、観光協会）、観光事業者
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・いわき市勿来地区は東北地方太平洋岸の玄関口としての拠点、道路整備の必要性を強く感じている。 ・自動車通学者は国道6号を利用。<u>国道6号の定時性が確保されれば、茨城方面の受験生にとって本学も通学圏として選択肢に入ることから、勿来バイパスの整備は必要。</u> 	経済団体（商工会）、教育機関

地域が感じている国道6号の課題

- ①交通渋滞の発生 (朝・夕や観光シーズン等)
⇒ **【政策目標】 交通容量の確保**
- ②災害時の通行(避難)に不安がある
⇒ **【政策目標】 災害に強い緊急輸送路の確保**
- ③通行止め時、迂回路が遠い
⇒ **【政策目標】 災害に強い緊急輸送路の確保**
⇒ **【政策目標】 県境を越えた結びつきの確保**
- ④交通事故が多い
⇒ **【政策目標】 交通事故の減少**
- ⑤救急病院へ行くのに時間がかかる
⇒ **【政策目標】 第三次救急医療施設への速達性**
⇒ **【政策目標】 県境を越えた結びつきの確保**



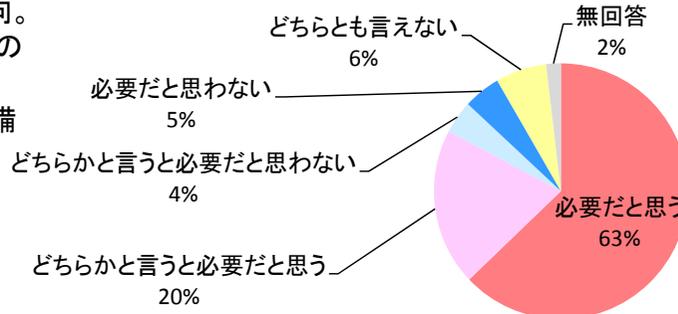
アンケートにおける道路整備の必要性に対する回答結果

道路整備の必要性に関する意見

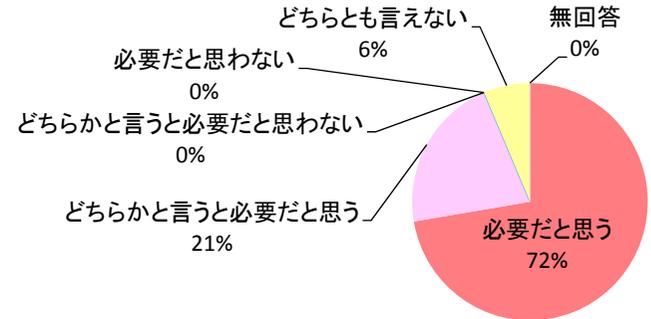
- ⇒ 道路整備の必要性は、沿道地域(いわき市勿来地区、いわき市小名浜地区、北茨城市)で高い傾向。
- ・利用目的別、課題認識別においても、道路整備の必要性は高いと感じている。
- ・利用頻度が少ない方でも、避難路として道路整備の必要性は高いと感じている。

住民や企業など道路利用者の多くが道路整備の必要性を認識

【住民】 総回答者数 12,395人



【企業】 総回答企業数 47社



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

まとめ

- ・渋滞や災害時の通行(避難路)の課題に関する意見が多い
- ・道路整備の必要性を感じている
- ・地域が感じている国道6号の課題は政策目標で網羅されている

《必要とされる道路整備》

政策目標を達成するための機能をもつ道路整備

3. 整備方針（ルート帯案）の検討

- ◆第1回意見聴取で、地域が重視する課題を把握し、その課題が設定した政策目標で網羅されていることを確認。また、住民・企業ともに道路整備の必要性を感じていることを確認。
- ◆第1回意見聴取を踏まえ、地域が重視する政策目標に整理。その政策目標を達成するための機能を有するルート帯案を複数案設定。

道路交通及び地域の課題

◇対策案の方針

【交通関連】

- ・物流や通勤など県境を越えた流動があることから、観光時、通勤時などの交通混雑を解消した円滑な道路

【災害関連】

- ・災害時に通行止めとならず、広域迂回とならない道路

【事故関連】

- ・死傷事故率の高い区間において、安全性を確保する道路

【医療関連】

- ・災害時においても、第三次救急医療施設への速達性が確保できる道路

【県境関連】

- ・観光など県境を越えた結びつきを確保する道路

◇政策目標

- ① 交通容量を確保する
- ② 北茨城市～いわき市間で災害に強い緊急輸送路の確保
- ③ 交通事故の減少を図る
- ④ 第三次救急医療施設への速達性向上を図る
- ⑤ 県境を越えた結びつきの確保

バイパス整備により政策目標を確保する案

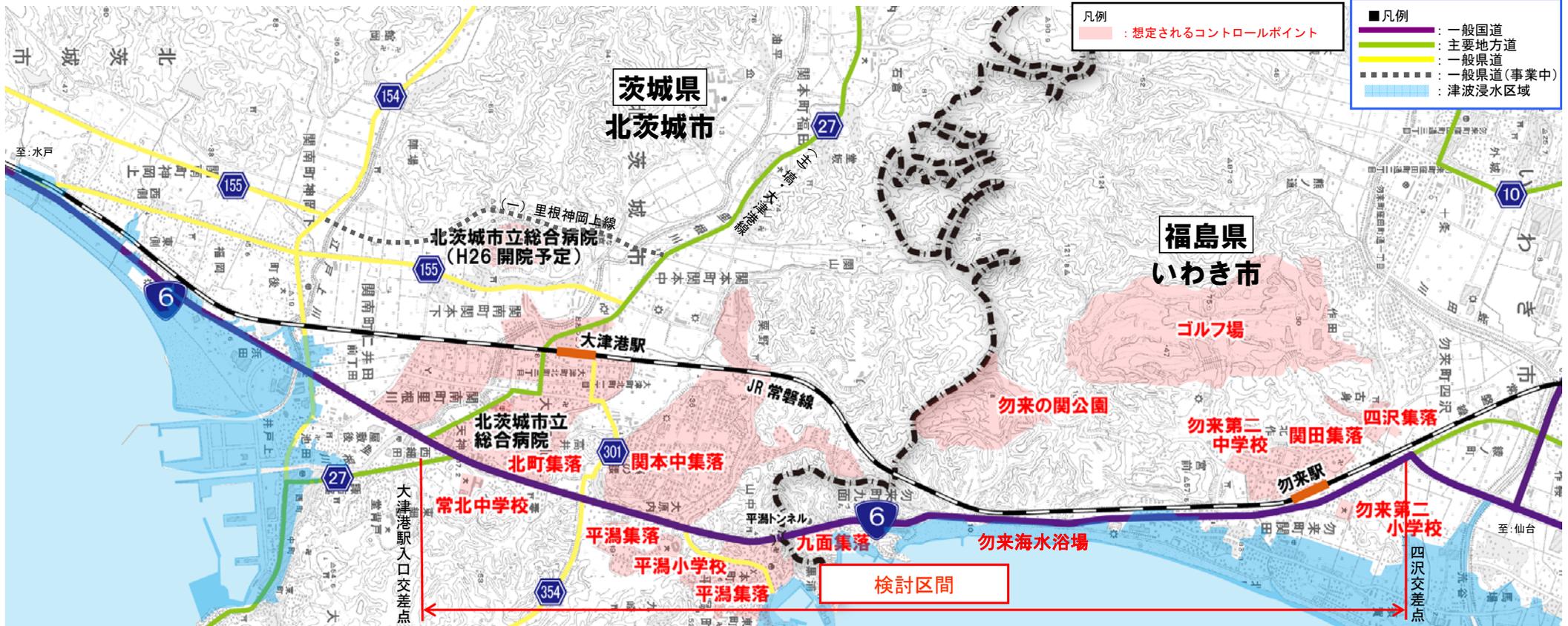
現道拡幅により政策目標を確保する案

◇比較案

- 【バイパス整備案】・・・北茨城市～いわき市間の交通を転換し、津波浸水区間を回避したバイパスで整備する案
- 【現道拡幅案】・・・現国道を4車線化により容量を確保し、東日本大震災で津波浸水した箇所を一部嵩上げる案

◆ルート帯を検討する上で主要なコントロールポイントとして接続道路・集落・学校等に配慮する。

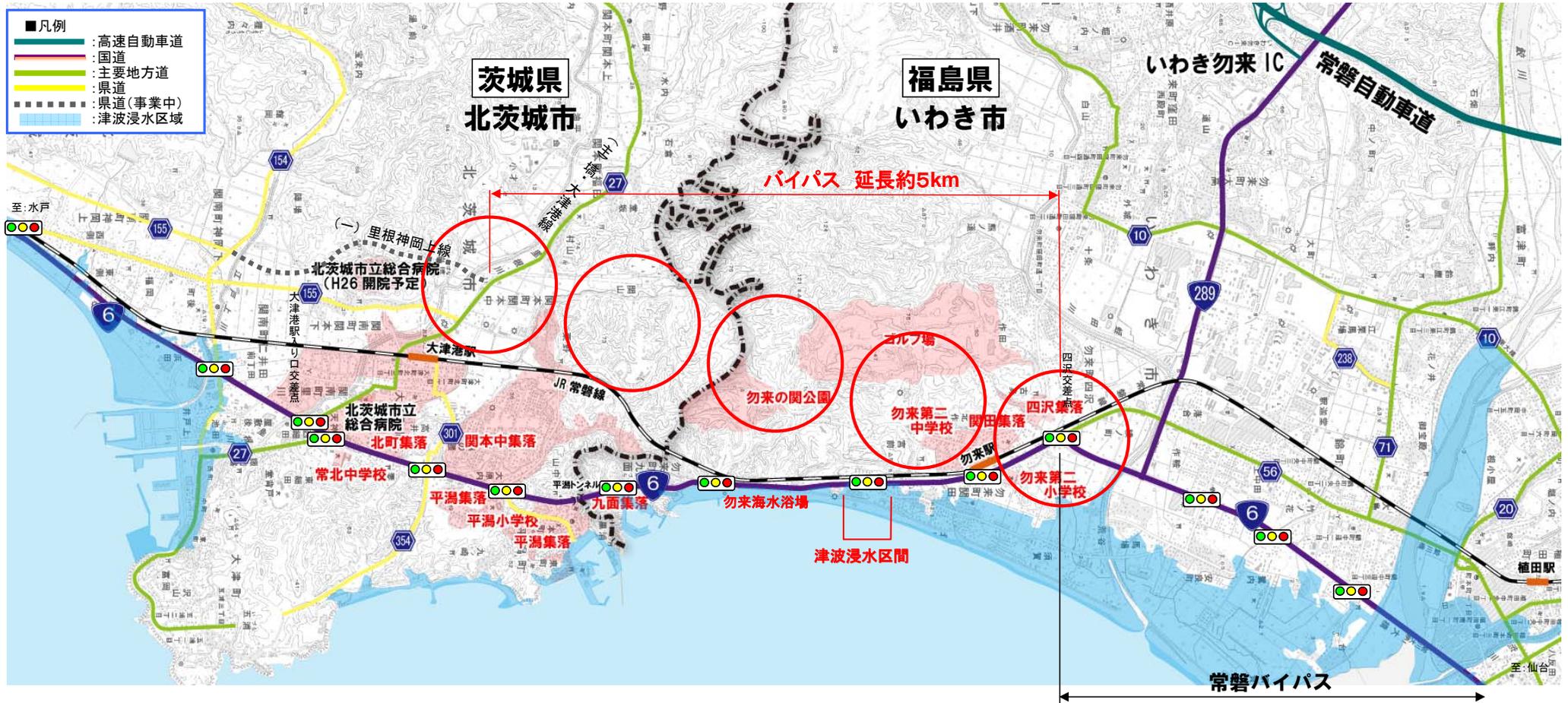
◇コントロールポイントの位置図



コントロールポイント	社会的状況による要因	◆起終点道路(現道6号、常磐バイパス起点部) ◆鉄道(JR常磐線、勿来駅) ◆集落(四沢、関田、九面、関本、平潟、北町) ◆学校(勿来第二小学校、勿来第二中学校、平潟小学校、常北中学校) ◆北茨城市立総合病院 ◆勿来海水浴場 ◆ゴルフ場
	環境関係法令等による要因	◆都市計画法都市公園(勿来の関公園)

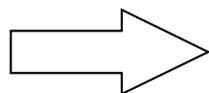
※コントロールポイントとは、道路の利便性を考慮して通過すべき地点、社会的影響が大きく回避すべき建物等

◆福島、茨城県間における国道6号の課題を解消するため、バイパスを設置する案。



【特徴】

バイパス案



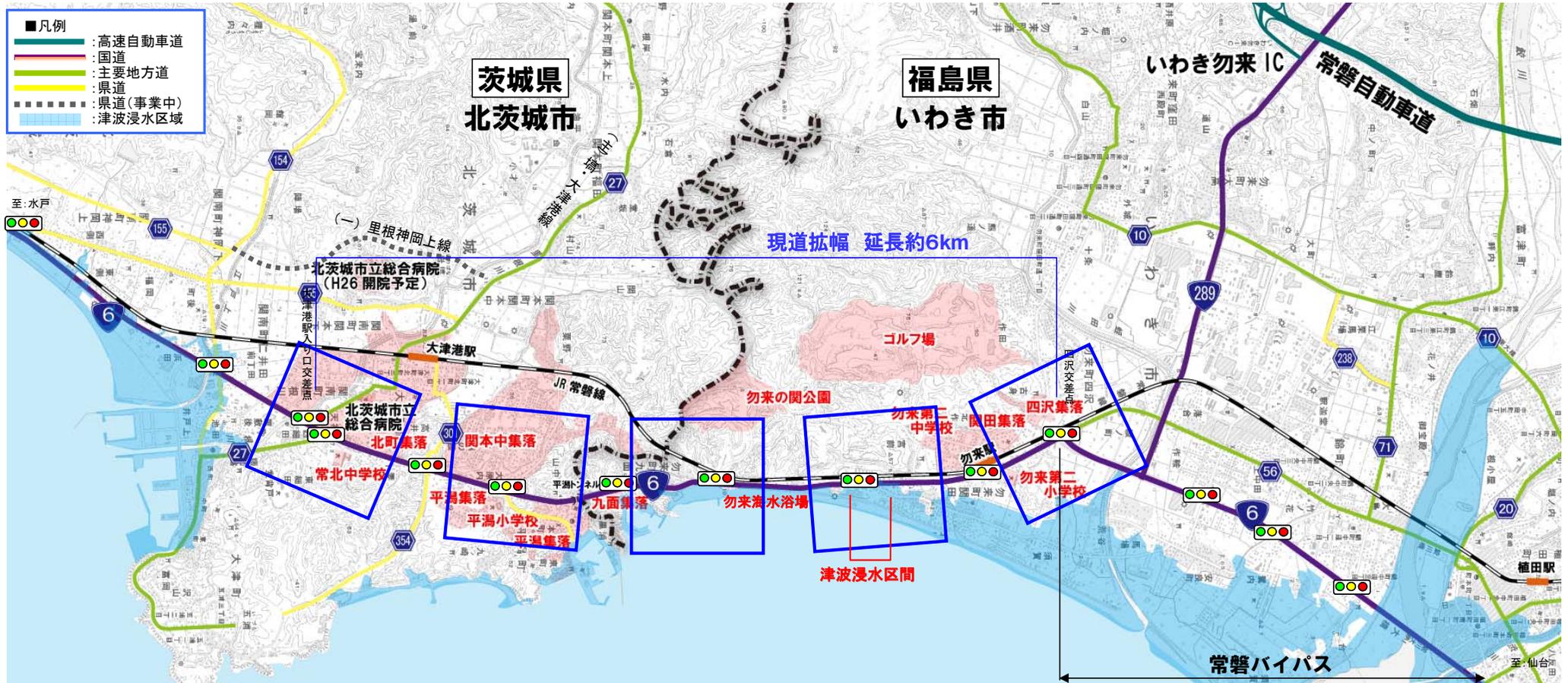
⇒バイパスによる交通の転換、主要渋滞箇所・津波浸水区間の回避により国道6号の課題を解消。

⇒道路構造は切土、盛土、一部トンネルが想定される。

さとね かみおかかみ

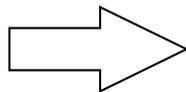
⇒一般県道 里根神岡上線に接続し、国道6号に並行した代替路が構築される。

◆福島、茨城県間における国道6号の課題を解消するため、4車線化する案。



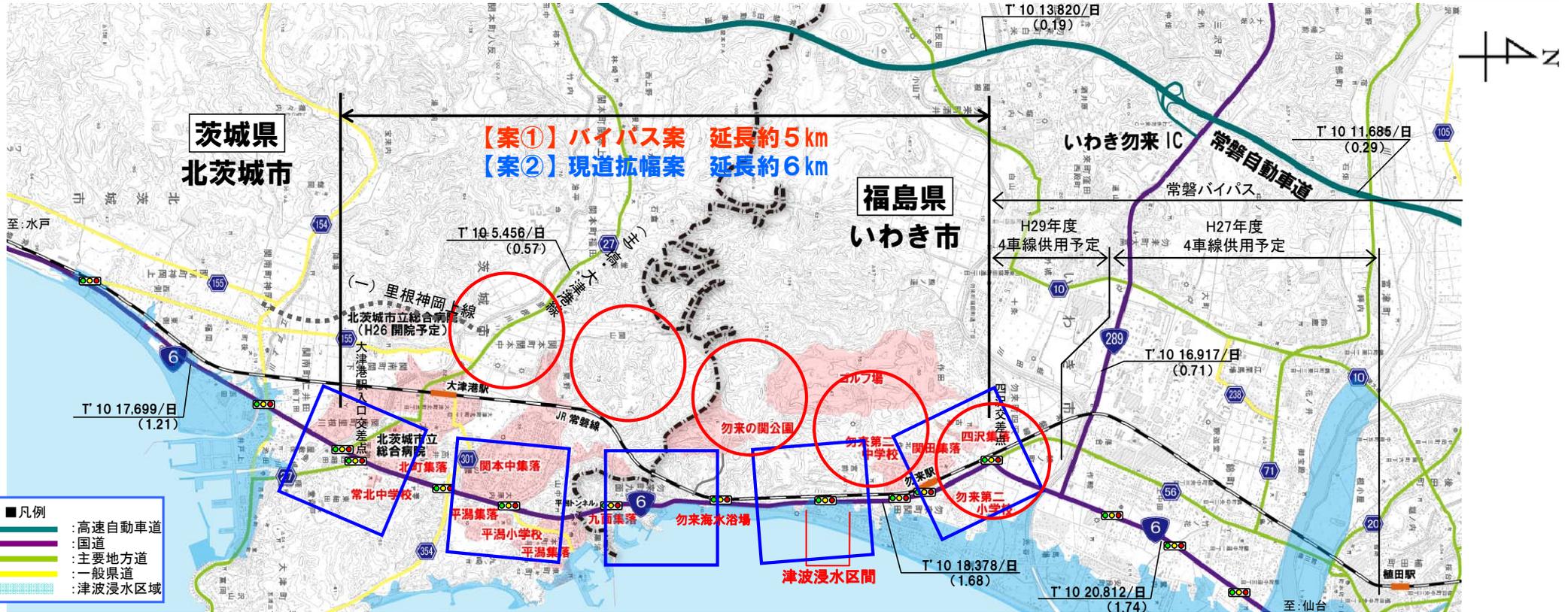
【特徴】

現道拡幅案



- ⇒4車線化による交通容量の確保により、現道の課題を解消。
- ⇒極力、家屋へ影響しないよう拡幅する。平潟トンネルは2車線トンネルの追加が想定される。
- ⇒津波浸水した区間のみ、一部嵩上げする。
- ⇒約6kmの現道拡幅区間は、沿道に影響する家屋等が多い。

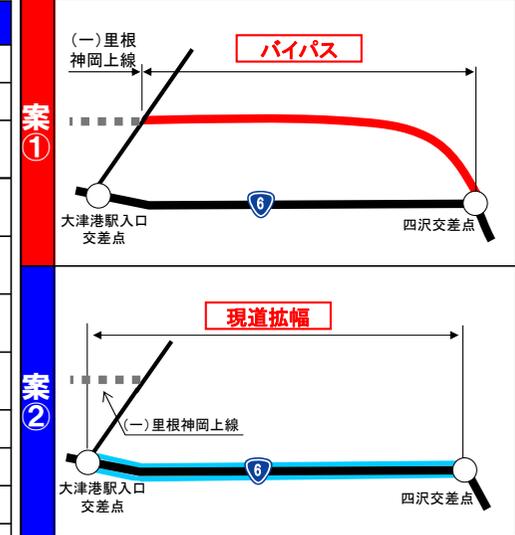
3-5. ルート帯案の概要



■2つの案の比較結果

比較案	【案①】バイパス案 延長約5km	【案②】現道拡幅案 延長約6km	
ルート案の主旨	バイパスを整備する案	国道6号を4車線化する案	
政策目標	交通容量の確保	バイパスに交通が転換することにより、国道6号の混雑が解消	4車線化により国道6号の混雑が解消
	災害に強い緊急輸送路の確保	・津波浸水区間をバイパスで回避 ・新たな代替路が確保される	・津波浸水区間を一部嵩上げる ・新たな代替路は確保されない
	交通事故の減少	国道6号の交通量減少により、交通事故の減少効果がある	4車線化に伴う中央分離帯設置により、右折車が制限され追突事故の減少効果がある
	第三次救急医療施設への速達性	北茨城市立総合病院 ~ 総合磐城共立病院間の搬送時間36分	北茨城市立総合病院 ~ 総合磐城共立病院間の搬送時間41分
県境付近の観光地へのアクセス性	バイパスのため、勿来の関公園、勿来海水浴場など県境付近の観光地へのアクセスに遠くなる	現国道を改良するため、勿来の関公園、勿来海水浴場など県境付近の観光地へのアクセスに優れる	
沿道施設へのアクセス性	バイパスのため、国道6号沿道施設へ直接アクセス出来ない	国道6号の沿道施設へ直接アクセス出来る(一部嵩上げ区間もアクセスを確保)	
沿道からの避難	バイパスのため、沿道から直接避難出来ない	車線数が増え渋滞緩和し、沿道の住民が災害時に避難し易い	
自然の改変	山側へ新たな道路を整備するため、自然の改変が多い	国道6号を拡幅するため、自然の改変が少ない	
影響する家屋数	支障物件約40~60件	支障物件約260~280件	
事業費	約170~190億円	約230~250億円	

■整備イメージ



4. 地域からの意見聴取方法案 (第2回)

ルート帯案に対して、以下のとおり意見聴取を実施

【内容】

- ◇ ルート帯案を選ぶ際に重視すべき項目について広く意見を聴取する。

【対象者・意見聴取の方法】

◇対象者

- ・ 当該区間道路利用者（いわき市勿来・小名浜地区、北茨城市、高萩市）
- ・ 当該区間を利用する企業・救急等
- ・ 第1回意見聴取でヒアリングした企業・団体等

◇意見聴取の方法

- ・ アンケート用紙
（いわき市勿来・小名浜地区、北茨城市、高萩市に全戸配布）
- ・ Webアンケート
（ホームページ〔磐城国道事務所、常陸河川国道事務所、福島県土木部、茨城県土木部、いわき市、高萩市、北茨城市〕にアンケートを掲載）
- ・ 新聞広告やいわき市、高萩市、北茨城市の市報にて広報を実施
- ・ 広域的な利用が見込まれる企業へのアンケートの送付
（第1回意見聴取でヒアリングした企業・団体に加え、いわき市、北茨城市、高萩市に本社・営業所のある、もしくは当該市内を運行するバス会社及びタクシー協会会員企業、福島県いわき支部及び茨城県県北支部のトラック協会会員企業等）

【意見聴取期間】

- ◇ 3週間程度

【実施主体】

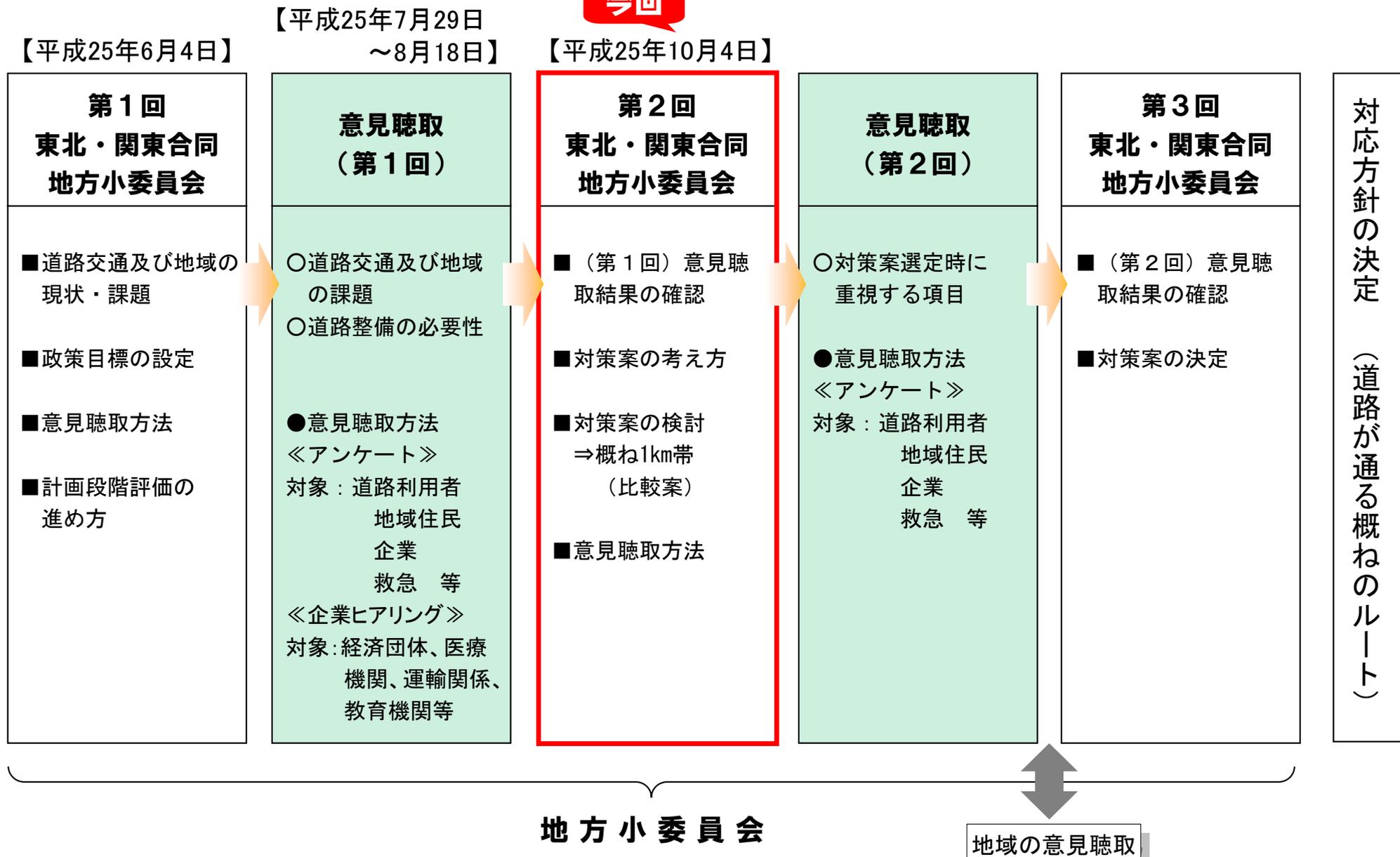
- ◇ 磐城国道事務所、常陸河川国道事務所

5. 今後の計画段階評価の進め方（案）

5. 今後の計画段階評価の進め方（案）

- 第1回意見聴取では、地域住民、道路利用者、企業等から国道6号の課題、地域の課題等について意見を聴取。課題を踏まえ、道路整備の必要性を確認。
- 第2回意見聴取では、課題に対して挙げられた政策目標を達成するルート帯案について意見聴取予定。

今回



6. 第2回アンケート (案)

意見聴取の基本方針

道路整備において、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視する項目について意見聴取し、ルート帯案決定の参考とする。

意見聴取の対象

住民アンケート（全戸配布）			
茨城県	高萩市		約13,000部
	北茨城市		約19,000部
福島県	いわき市勿来地区		約20,000部
	いわき市小名浜地区		約31,000部
			合計 約83,000部
企業アンケート			
茨城県	経済団体（商工会・JA・観光協会）		5団体
	医療機関		3施設
	教育機関（高等学校）		2校
	観光事業者		5社
	茨城県トラック協会 県北支部所属企業		41社
	茨城県バス協会 高萩市・北茨城市内営業企業		3社
	茨城県ハイヤー・タクシー協会 県北交通圏 高萩地区、日立地区所属企業		8社
	消防本部 高萩市・北茨城市		2署
福島県	経済団体（商工会・JA・観光協会）		4団体
	医療機関		3施設
	運輸関連業者		3社
	教育機関（大学・高等学校）		4校
	観光事業者		4社
	福島県トラック協会 いわき支部所属企業		122社
	福島県バス協会 いわき市内営業企業		5社
	福島県タクシー協会 いわき支部所属企業		25社
消防本部 いわき市		1署	
			240社

1. アンケート調査項目と活用方針

アンケートの質問項目	アンケート結果の活用	備考
道路交通及び地域の課題	地域住民や企業から、国道6号・地域の課題について意見聴取を行い、課題が政策目標と整合するか確認する。	第1回
道路整備の必要性	国道6号・地域の課題を踏まえ、茨城県北茨城市～福島県いわき市間における道路整備の必要性について意見聴取する。	
ルート帯案(複数案)に対する意見	道路整備において、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視する項目について意見聴取し、ルート帯案決定の参考とする。	第2回
回答者の属性、利用状況	回答者の属性、利用状況を確認。 回答結果に対して、各分類で整理・分析する。	共通
その他自由意見	その他、茨城県北茨城市～福島県いわき市間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定の参考とする。	

第2回アンケートの対象

2. アンケートチラシ案

1) 調査概要

⇒本調査の趣旨・調査対象箇所の提示・今後の手続きの流れ

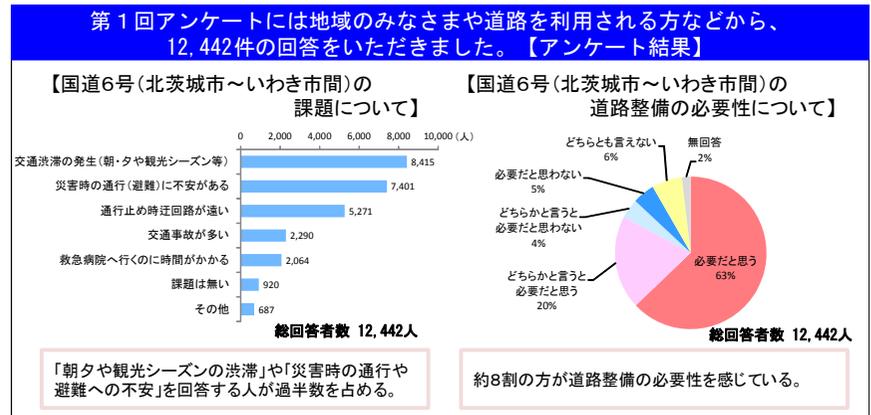
（案）

一般国道6号（案） 茨城県北茨城市～福島県いわき市間（勿来バイパス）の 計画検討に関する第2回アンケート調査



2) 第1回アンケート調査結果

⇒第1回アンケートより「国道6号の課題」「道路整備の必要性」について集計結果を説明



2. アンケート案

3) 質問事項

⇒○ 比較ルート帯案(複数案)に対する意見

質問①

あなた自身についてお聞きします。国道6号(北茨城市からいわき市間)の利用頻度について、あてはまる番号を1つ選び、回答欄の口にチェックをお願いします。

1	毎日	4	ほとんど利用しない
2	週に数回程度	5	利用したことがない <small>※質問③へ</small>
3	月に数回程度		

< 質問②へ >

質問②

北茨城市からいわき市間の主な利用目的についてあてはまる番号を全て選び、回答欄の口にチェックをお願いします。
(複数回答可)

1	通勤・通学	4	仕事(営業・運送等)
2	通院	5	観光・レジャー
3	家事・買い物	6	その他()

< 質問③へ >

質問③

第1回アンケートの結果について妥当だと思いますか。
あてはまる番号を1つ選び、回答欄の口にチェックをお願いします。

1	妥当だと思う	質問④へ	➡
2	どちらかと言うと妥当だと思う	質問④へ	➡
3	どちらかと言うと妥当と思わない	質問⑥へ	➡
4	妥当と思わない	質問⑥へ	➡
5	どちらとも言えない	質問⑦へ	➡

質問④

今回、2つのルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思いますか？特に重要だと思われる番号を3つ選び、回答欄の口にチェックをお願いします。

1	現国道6号の混雑が解消される道路
2	津波浸水区間を回避し代替路を確保する道路
3	交通事故の少ない道路
4	救急病院に早く行ける道路
5	県境付近の観光地へアクセスしやすい道路
6	沿道へアクセス出来る道路
7	沿道の住民が避難しやすい道路
8	自然の改変が少ない道路
9	影響する家屋数が少ない道路
10	事業費が経済的な道路
11	その他()

< 質問⑤へ >

質問⑤

④でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聞かせ下さい。

< 質問⑦へ >

質問⑥

妥当だと思わない理由についてお聞かせ下さい。

< 質問⑦へ >

質問⑦

その他ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

